

## 平成 28 年度事務事業の評価（案）

### 1 こみっとフェスティバル（\_\_\_委員）

行政評価委員会の意見	
結論	「現状のまま継続」は妥当である。
理由	NPOやボランティア団体の活動を広く市民に知る機会が提供されるべきという考えに基づき、実行委員会の設置段階、会場の選定、運営の方法などが丁寧に検討されて実行されている。
指摘事項	現状では、NPOやボランティア団体が主体的かつ互助的に活動を継続する段階にない。こうした活動を通じてその機運が高まっているのであれば、これら団体を統括する組織が形成されることが望ましく、NPOセンターのような組織が市とは独立して機能するようになったとき、この行事は新たな組織が主体的に関与するような仕組みに転換していくのがよい。ただし、現在はここまでの発展が見通せておらず、実行委員会の運営を通じて定期的に顔を合わせる場が設けられていることの意義が重視される段階であることを鑑み、上記の結論に至った。

2 農業祭（\_\_\_委員）

行政評価委員会の意見	
結論	「見直しの上で継続，今後の方針として手段を改善する（実施の手段を変える）」は妥当である。
理由	<p>1次評価と同様に，開催場所を再検討すべきである。</p> <p>農業祭は来場者を 50,000 人超（実際の来場者は通常実施年度において 80,000 人超）と想定しているイベントである。そのため，水戸市という地域性上大規模な駐車場は不可避である事，雨天時の対応が可能な開催場所である事等が，イベント開催場所の必須要件と考えられる。</p> <p>イベント成功のためには，出店者及び来場者双方にとって，適切な開催場所を選択する必要がある。アンケートの結果も踏まえて次回以降の開催場所を検討して頂きたい。</p> <p>また，長期的には水戸市民だけでなく，茨城県民や近隣の県民に対しても水戸をアピールできるようなイベントとして，イベント内容の充実や広報の方法を検討してもらいたい。</p>
指摘事項	<p><b>【広報の方法について】</b></p> <p>J A水戸会員宛に広報を行ったとの事であるが，広く一般市民に対しても何らかの方法で周知して頂きたい。</p>

### 3 商工祭（\_\_\_委員）

行政評価委員会の意見	
結論	「見直しの上で継続，今後の方針として手段を改善する（実施の手段を変える）」は妥当である。
理由	<p>※農業祭の理由と同様</p> <p>1次評価と同様に，開催場所を再検討すべきである。</p> <p>商工祭は来場者を 50,000 人超（実際の来場者は通常実施年度において 80,000 人超）と想定しているイベントである。そのため，水戸市という地域性上大規模な駐車場は不可避である事，雨天時の対応が可能な開催場所である事等が，イベント開催場所の必須要件と考えられる。</p> <p>イベント成功のためには，出店者及び来場者双方にとって，適切な開催場所を選択する必要がある。アンケートの結果も踏まえて次回以降の開催場所を検討して頂きたい。</p> <p>また，長期的には水戸市民だけでなく，茨城県民や近隣の県民に対しても水戸をアピールできるようなイベントとして，イベント内容の充実や広報の方法を検討してもらいたい。</p>
指摘事項	<p>【広報の方法について】</p> <p>チラシを新聞への折込や市立幼稚園・小学校への配布をしたとの事であるが，その他にも水戸市のHP・SNSへの記載や，新聞を購読していない若者への周知方法を検討して頂きたい。</p>

4 水戸黄門まつり（\_\_\_委員）

行政評価委員会の意見	
結論	「見直しの上で継続（効率化を図る）」は妥当である。
理由	<p>関係者の熱心な取組みにより，県都水戸市を代表するイベントとして認識されている一方で，マンネリ感も否定できない。また，まつりそのものの性格も市民参加型，観光交流型など，方向性が必ずしも明確でない状況にある。</p> <p>これまで，このような観点から見直し・改善が十分になされたこともないようである。</p> <p>この際，さらにステップアップしたイベントとなるよう，そのあり方をゼロベースの視点も含めて検討をすべきものとするため，行政評価を継続して行うことが適当と考える。</p>
指摘事項	<p>① まつりの目標設定（目標値である来場観客数）の考え方</p> <p>事業の目標値である来場観客数の測定は，事業を評価する上で重要な要素であるが，感度評価（前年度と比較しての各団体の感覚的意見）となっている。他市の同規模のイベントの状況も踏まえて，ある程度客観的な測定方法を検討すべきと思われる。</p> <p>目標値の設定についても，ある程度合理的な考え方（どのぐらい増えると水戸市の観光政策（目標＝観光交流人口450万人）に寄与するのか等）によって設定すべきであると思われる。</p> <p>② まつりの事業内容の評価の工夫</p> <p>事業内容は一定程度改善もなされているが，その評価については，各団体の反省会等によるのみとなっている。</p> <p>例えば，来場者へのアンケート（ネットを利用した集計等も含む）などは一切なされてないので，顧客満足度評価等の観点も含めて，事業評価のあり方を検討すべきである。</p> <p>③ 補助金の算定の工夫</p> <p>補助金の算定が，協賛金を除外した事業費となっているようであるが，できれば，市として関与すべき部分などを精査して補助金のあり方を再検討する余地もあると思われる。</p> <p>④ まつりの改善方向性の検討体制</p> <p>水戸市にとって，欠くことのできないイベントであることは間違いないので，さらに充実したものとしていく上で，まつりのあり方を議論・検討する庁内組織や外部検討組織を設置して，今後の長期的なあり方を議論する場を設けることを検討すべきと思われる。</p>

5 風土記の丘ふるさとまつり（\_\_\_委員）

行政評価委員会の意見	
結論	「見直しの上で継続（手段を改善する）」は妥当である。
理由	他に類似したものがない歴史・文化財に関するイベントであり，地域のにぎわいづくりの上でも意義のある事業であることから，継続は妥当と考えられる。 今後は，より多くの来場者を集めるため，広告の手段や規模を増やすことが必要と思われる。 荒天時への対応も含め，企画の内容についても再検討すべきである。
指摘事項	より一層の告知に努め，事業の開催を市民に周知すべき。 市民が参加しやすく，文化財の普及啓蒙という事業の目的に沿った企画を充実させるべき。

6 セツ洞公園再生事業（\_\_\_委員）

行政評価委員会の意見	
結論	「見直しの上で継続（主体を代える）」は妥当である。
理由	<p>セツ洞公園は、水戸市の公園の中でもよい環境の中にある公園である。そのような中、セツ洞公園再生事業は、公園の魅力を向上させるために、四季を通じて様々なイベントが実施されており、公園の魅力発信という点で評価することができる。</p> <p>公園緑地課における1次評価では、さらなる魅力の向上に向けて、実施主体を市から民間事業者等へ委ねることも検討するとしているが、今後の再生事業の向上に向けて、民間の創意工夫の活用を検討することは有効である。</p>
指摘事項	<p>公園自体は、英国式庭園としての位置付けを生かし、イベントの時のみならず、通常時の来園者の増加に向け、多方面への周知を図るなど取組が必要である。また、植物公園長の指導のもと、水戸イングリッシュガーデンクラブのボランティアが庭園の管理を行っているが、ボランティア会員の増強なども必要である。</p>